

船舶事故等調査報告書

平成23年4月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第32号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年6月3日 06時00分ごろ	
発生場所	沖縄県うるま市伊計島 ^{いけい} 東方沖 伊計島灯台から真方位151° 1,300m付近 （概位 北緯26°23.3′ 東経128°00.2′）	
事故等調査の経過	平成22年6月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 漁船 ^{まさみ} 将実丸、8.5トン 船舶番号、船舶所有者等 ON2-0311（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	船尾船底部に破口	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、船首約0.6m、船尾約1.0mの喫水で夜明けを待って沖縄県金武町金武漁港に入港する予定とし、伊計島東方約4.5海里で漂流中、平成22年6月3日06時00分ごろ、東風に圧流されてリーフに乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東、風力 4、視程 約20km	
その他の事項	船長は、伊計島南東方沖でのソデイカ漁の目的で、平成22年5月31日に金武漁港を3週間ぶりに出港していた。 船長は、金武漁港で07時から競りが始まることから、時間調整を行うため、また、久しぶりの漁で眠たかったので、約2時間仮眠しようと思ったが、目覚まし時計をセットするのを忘れて寝入った。 伊計島の東方海域は、水深が300mほどで錨泊はできず、漂流での仮眠は初めてであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、伊計島東方沖で漂流中、船長が仮眠を続けたため、風浪に圧流されて船尾船底部が浅瀬に接触したものと考えられる。 船長は、仮眠する際、目覚まし時計をセットしなかったことから、仮眠を続けた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、伊計島東方沖で漂流中、船長が仮眠を続けたため、東風に圧流されて乗り揚げたものと考えられる。	